



2023年7月31日

各 位

会 社 名 株式会社 ツクルバ
代表者名 代表取締役CEO 村上 浩輝
(コード：2978 東証グロース)
問合せ先 執行役員CAO 小池 良平
(TEL：03-4400-2946)

長期金利変動幅の運用柔軟化にかかる当社事業への影響について

2023年7月28日、日本銀行の金融政策決定会合において、長期金利変動幅の許容上限をより柔軟に運用する方針が決定されました（以下「本件決定」といいます。）。具体的には、従前「0.5%程度」としていた長期金利変動幅の許容上限を「0.5%程度を目途」としつつも、上限超過を最大1%まで容認することにより、「粘り強く金融緩和を継続する」運用方針が発表されました。これによる当社事業への影響について、現段階における当社の認識を下記のとおりお伝えいたします。

記

1. 本件決定及び金利動向に関する当社認識

本件決定は、長期金利変動幅の許容上限について、最大1%までの上昇を容認したものです。一方、日本銀行の植田総裁の会見においては、経済・物価情勢が現状程度の水準であれば許容上限は0.5%程度が妥当であり、現時点で1%までの上昇は想定してないとの見解が示されました。長期借入にかかる金利の上昇及び長期金利を参照して決定される住宅ローンの固定金利については、今後一定の上昇が想定されますが、中期的な経済・物価情勢と連動した動きになると考えられます。

なお、短期金利については、本件決定での変更はなされていないため直接的な影響はありませんが、今後の政策金利動向を注視してまいります。

2. 本件決定による当社事業への影響について

本件決定による影響としては、2022年12月27日開示の「長期金利の変動許容幅変更にかかる当社事業への影響について」の前提から大きな変更はありません。今後、本件決定による顧客動向の変化や不動産市況への影響を注視してまいります。仮に一時的な需要の減退が見られたとしても、中長期的な事業成長の見通しに変更はありません。

本件決定による当社事業への影響の詳細は、以下の開示をご確認ください。

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2978/tdnet/2218704/00.pdf>

3. 今期の通期業績予想について

今期の通期業績予想につき、本件決定による変更はございません。

以 上